

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉援助実習指導Ⅲ		選択	2	4	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
宮澤 江梨子	B313	eriko.miyazawa	木曜日 10:30～12:30		
授業の目的・概要	<p><目的>精神保健福祉援助実習を通して理解した精神保健福祉士の価値、実践について体系的に理解できるようにする。精神保健福祉援助実習を通して体得した精神保健福祉士の視点、支援を理論化、文章化し、体系的な理解を深め、実習報告書を完成させることを目的とする。</p> <p><概要>講義では、前半に精神保健福祉援助実習の振り返りを全体で行い、その後、後半は各自が実習報告書を作成し、個別指導を受ける。最後に実習報告会で報告を行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	精神保健福祉援助実習を振り返り、各自が実習で学んだ内容や取り組み、実習記録について整理をしておくこと。				
教科書	新 精神保健福祉士養成講座 9 精神保健福祉援助実習指導・実習/編：日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版。				
参考書	「学外実習の手引き」(健康科学大学福祉心理学科編集)				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉援助実習での学びを整理し、実習報告書を作成できる。			HSU(2)、WP(5)	
②	精神保健福祉援助実習での自己の課題を発見し、受け止めることができる。			HSU(6)、WP(4)	
③	ソーシャルワークの知識・技術・価値に基づいた実習報告を行うことができる。			HSU(2)、WP(3)、(5)、(6)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方と評価についての理解) 実習後の指導の意義について理解する。	講義	実習日誌と自己評価の整理		4
2	実習内容について、達成度の自己評価を振り返る。	講義	自己評価の振り返りを行う。		2
3	実習記録、実習体験を踏まえ、自己の課題の整理を行う。	講義	自己評価の振り返りを行う。		2
4	実習内容についての達成度と自己評価の振り返りに対し、個別指導を行う①	講義	自己評価の振り返りを行う。		4
5	実習内容についての達成度と自己評価の振り返りに対し、個別指導を行う②	講義	自己評価の振り返りを行う。		4
6	実習内容についての達成度と自己評価の振り返りに対し、個別指導を行う③	講義	自己評価の振り返りを行う。		4
7	実習を総括した報告書の作成に対し、個別に指導を行う①	講義	実習報告書を作成する。		4
8	実習を総括した報告書の作成に対し、個別に指導を行う②	講義	実習報告書を作成する。		4
9	実習を総括した報告書の作成に対し、個別に指導を行う③	講義	実習報告書を作成する。		4
10	実習を総括した報告書の作成に対し、個別に指導を行う④	講義	実習報告書を作成する。		4
11	実習を総括した報告書の作成に対し、個別に指導を行う⑤	講義	実習報告書を作成する。		4
12	実習報告会の資料を作成する①	講義	プレゼンテーションに向けた準備を行う。		6
13	実習報告会の資料を作成する②	講義	プレゼンテーションに向けた準備を行う。		6
14	実習の評価全体総括会としての実習報告会を行う。	発表	プレゼンテーションに向けた準備を行う。		6
15	報告会の振り返りと、今後の課題についてまとめ考察する。	講義	実習報告会の評価を振り返る。		2
試					

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	40	0	20	
総合力指標	知識・技術力	0	15	0	0	0	15
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	30	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	実習報告書において、実習での学びが整理されているか、体裁は整い、提出期限を守ることができたかを評価する。				添削指導により個別にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	実習報告会でのプレゼンテーション技術・実習報告の内容について評価する。実習の内容、実習での学び、実習後の課題について理解度を問う。				第 15 回の授業の中で振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業態度及び取組みの姿勢・意欲について評価する。				個別にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他		<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士国家試験受験資格取得の希望者は必ず履修すること。 ・対面授業での実施のため、大学が公表している感染症対策及び教員の示す方法を遵守すること。 ・今後、新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスを変更する可能性がある。 					